

各位

2018 年 6 月 11 日（月）

桜丘高等学校 生徒会

孫便りの会・生徒一同

～今日で東日本大震災から 7 年 3 カ月が経過～

東日本大震災が発生して 7 年 3 か月が経過し、被災地では復興への道のりが一步步確実に進んで来ています。ただ、現地の人たちの心の中からは何時まで経っても「あの時」を消すことが出来ないのも事実です。特に仮設住宅という形ある物が無くなり、多くの人が復興住宅に移り住んでいる現在、現地に足を運び、話をしていると、ふと目に涙を浮かべて声が詰まってくるお爺ちゃんやお婆ちゃん達。

仮設住宅の時には集会室があり、何時でも自由に集まって声を掛け合いながら、作り上げてきたコミュニティですが、復興住宅に入ってからはそのような交流も薄れ、つい部屋に閉じこもってしまう日々が続いてしまうのだと言う。そして、その様な場面に幾度となく立ち合うなかで、「今の私たちに何が出来るのだろうか？本当にこれで良いのだろうか？」と、思考が止まってしまう自分に問いかけながら支援活動を続けてきました。

大切にしている事、それは桜丘高等学校として継続出来る事を大事にしたい。800 km 離れた遠くにいるからこそ届ける事の出来る「心」もあると信じて、これまで通り豊橋の皆さん方のご理解と御協力を得ながら、支援活動を続けていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

～今年 8 月には 21 回目の東北復興支援へ！～

<日程：8 月 24 日（金）～27 日（月）交通：大型バス 1 台>



<海岸清掃の様子>

震災発生 of 2011 年から大型バスにて「東日本大震災復興支援活動」を始めて、今回で 21 回目となる復興支援行動ですが、これまでに延べ 800 人くらいの生徒たちが気仙沼に出かけ、多くの涙を流し、親交を深めてきました。

今では、大島に到着すると「ただいま！」「お帰り！」の言葉が飛び交い、大島を離れる時には「行って来ます！」「行ってらっしゃい！」との言葉を交わす交流が普通になりつつあります。最近の復興支援の主な活動は「海岸清掃」となっていますが、これまでの支援活動で積み上げてきた一つ一つの思い出をしっかりと見つめながら、これから出来る事、やらなければならない事を豊橋の皆さんと一緒に考えながら、頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。